

会 議 記 録 (要旨)

名 称	第2回中央区本庁舎整備検討委員会	
開催年月日	平成30年7月26日(木) 16:30~17:50	
場 所	中央区役所本館 10階 第2委員会室	
出席者	委員	竹内誠、磯野忠、田中広一、鈴木久雄、川端武二、中野耕佑、宮森孝一、小泉典久、相澤俊一、岡田良光、三田富貴子、岸本裕子
	区職員	齊藤進(副区長)、吉田不曇(副区長)、浅沼孝一郎(企画部長)、田中武(総務部長)、松岡広亮(都市整備部長)、田野則雄(区議会議会議長)、園田典子(広報課長)、鈴木浩(総務部参事)、田部井久(総務部組織・本庁舎整備等担当課長)、畔上正臣(総務部副参事)
配布資料	第2回中央区本庁舎整備検討委員会次第 中央区本庁舎整備検討委員会資料(第2回)	
議事の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員長及び職務代理者の選出</li> <li>3 中央区本庁舎整備基本方針の構成案と検討の流れ</li> <li>4 新本庁舎の目指す姿 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人にやさしい区役所 ~使いやすい機能の確保~</li> <li>(2) 区民に開かれた区役所 ~情報発信機能の充実~</li> </ol> </li> <li>5 来庁者アンケートの結果概要</li> <li>6 閉会</li> </ol>	

## 1 開会

## 2 委員長及び職務代理者の選出

事務局から、委員長は委員の互選により選出する旨を説明。

(磯野委員が竹内委員を推薦)

(全員の拍手により承認)

竹内委員長 本委員会は、将来の中央区の中核拠点のあり方を検討する非常に大切な委員会である。

皆さまのお力を借り、委員長として微力ながら尽力したい。

事務局から、委員長の職務代理者は委員長が指名する旨を説明。

(竹内委員長が関委員を指名)

(全員の拍手により承認)

事務局から、関委員は本日欠席のため、後日、事務局の方で了承をいただく旨を説明。

## 3 中央区本庁舎整備基本方針の構成案と検討の流れ

事務局から、資料について、議事3～5の内容をまとめて説明。

竹内委員長 事務局からの報告についてご意見等があればお願いしたい。

田中委員 新本庁舎の目指す姿の方向性と同様に、新本庁舎の建設場所も重要と考えているが、今後、前回の検討委員会でご報告のあった2候補地に絞って議論を進めていくことになるのか。

田部井担当課長 新本庁舎の建設候補地について、昨年度に実施した基礎調査の中で2案に整理させていただいたが、今年度を実施する調査の結果等も踏まえ、基本方針への反映方法等について、委員の皆さまからご意見をいただきながら検討を進めたい。

田中委員 そのような方向でお願いしたい。建設候補地のエリアを京橋地域に絞り込むという点については、概ね賛同が得られるのではないかと思うが、京橋地域においては、例えば築地市場の跡地などの公有地も踏まえて今後の議論を進めていただきたい。

竹内委員長 建設候補地は最終的には絞り込んでいくことになろうかと思うが、本委員会でのご意見等を踏まえ、十分な検討をお願いしたい。

鈴木委員 本日の資料を見ると、10月開催予定の第4回検討委員会において、建設候補地や新本庁舎の規模等について議論し、年明け1月の第5回検討委員会では、整備基本方針の素案を固めることになっている。このスケジュールを踏まえると、建設候補地についても絞り込みに入っていく必

要があるのだと思うが、新本庁舎整備について検討するという事は、まさに街の中核のあり方を検討するという事であるから、慎重に検討を重ねるべきではないか。

また、築地市場移転後の公有地については、交通アクセスの良さ等を踏まえると、新本庁舎の建設候補地として用地の取得を検討する必要があるのではないかと考えるが、区として検討はされたのか。

本庁舎は、今後 100 年先を見据えた建替えになると思われることから、いつまでも議論し続けるわけにはいかないものの、もう少し時間をかけて慎重に進めるべきではないか。

吉田副区長 築地市場移転後の跡地について、区としては東京都に対し、総合的な開発を要望していることから、その一部を区役所とするという考え方については、積極的な提案が難しい状況にある。また、建設候補地の検討にあたっては、区有地以外であれば土地の取得にかかる費用や時間等も考慮した上で、他の建設候補地と比較することが必要である。

こうした中で、区としても最適な選択を考える必要がある。建設候補地について、様々な観点からご判断をいただくための資料を提示するには、本日提示した検討スケジュールを見直す必要もあるかと考える。検討の進め方やスケジュールについては、再検討の上、次回検討委員会にて提示させていただきたい。

鈴木委員 築地市場跡地については、候補地としての検討の余地がないように思われるが、その点はいかがか。

吉田副区長 土地の所有者である東京都の意向は別として、委員お二方のご意見を踏まえ、築地市場跡地を建設候補地として見た場合の客観的な資料を本委員会に提示した上で、ご判断をいただく必要があると考えている。

竹内委員長 建設候補地については、もう少し時間をかけて検討するという点については、同意見のように思う。

川端委員 建設候補地については、隣接地の取得等も含め、広く確保することを検討していただきたい。

現地建替えとする場合、敷地を広く確保するという点では、隣接する公共施設だけでなく、民間施設も含めて検討していただき、新本庁舎については、民間施設も含めた複合施設として整備する方法も考えられるのではないかと。新本庁舎周辺も含めて再整備ができれば、例えば、複数建物の屋上部分を、移動ルートとして、あるいは、庭園・緑地として総合的に活用することも考えられるのではないかと。

現本庁舎の場所に対して、愛着や利便性を感じている区民も多いと考えられることから、現地建替えは検討してもよいと思うものの、愛着

だけで現敷地にこだわるのは、望ましくない考える。

また、区有地以外を建設候補地に含まれるとなると、所有者の意向もあることから、差しあたっては、京華スクエア敷地を活用した整備の検討を進めることが現実的ではないか。

岡田委員 今回の検討事項は資料でも示されているとおり、新本庁舎の目指す姿のうち、「人にやさしい区役所」及び「区民に開かれた区役所」に係わる部分であり、建設候補地や建物整備についての議論は、いったん保留になるのではないか。また、他の委員からもご提案いただいているが、建設候補地等についての議論に時間を要するのであれば、検討スケジュールについてはもう少し時間がかかるのではないか。

吉田副区長 検討スケジュールについては、例えば、今年度いっぱいかけて基本方針の素案を検討し、素案に対する区民のご意見をうかがうパブリックコメントについては次年度に後ろ倒すということも考え得ると思っている。事務局としても、委員の皆さまのご納得を得られないまま、現在の検討スケジュール優先で進めるということは考えていない。

建設候補地について等、本日の議題についてとは異なるご意見についても、別途、検討していく中で加味させていただきたいと考えている。

#### 4 新本庁舎の目指す姿

##### (1) 人にやさしい区役所 ～使いやすい機能の確保～

竹内委員長 事務局からの報告についてご意見等があればお願いしたい。

田中委員 新本庁舎の目指す姿の方向性として、報告のあった内容は重要だと考える。ぜひ進めていただきたい。

ユニバーサルデザインによる設計という点について、商業施設等も含めて考えると、人が多く集まるフロアはトイレを多めに設置しているように見受けられる。新本庁舎の設計を考える上でも、来庁者の多いフロアについては、トイレの設置数を多く見ていただくとよいのではないか。

「分かりやすく、効率的な窓口サービスの提供」の取組案として、フロアマネージャーの配置等を挙げていただいているのは素晴らしいと思う。また、なるべく来庁者ではなく、手続き内容等に応じて、窓口で対応する職員が入れ替わるような仕組みを考えるとところまで視野に入れていただけるとよいのではないか。

相澤委員 新本庁舎の目指す姿において、いろいろと障害者に対する配慮をいただいておりますが、有難いと感じている。ただし、具体的な方策については、建設地や建物規模等によって異なることから、今後の議論の中で改めて要望を出させていただきたい。

岡田委員 高齢者の立場からすると、エレベーターの設置やエスカレーターの速度に対する配慮や、杖をお使いの方等にとっての使いやすさの考慮等をお願いしたい。

## (2) 区民に開かれた区役所 ～情報発信機能の充実～

竹内委員長 事務局からの報告についてご意見等があればお願いしたい。

田中委員 本庁舎におけるコミュニティ活動のスペースは大変重要であると考えている。例えばギャラリーのようなイベントのできるスペースだけでなく、来庁者が休憩、懇談できるようなスペースも含めて検討する必要がある。

例えば「アラジン」は、イベントギャラリースペースの横にあり、障害者の雇用を創出しているだけでなく、中央区らしさを感じられるスペースとなっており、非常に素晴らしいと感じている。新本庁舎においても、区民等が集まるイベントスペースに隣接してカフェスペース等の設置を検討されるのではないかと思うが、ぜひ、そのカフェスペースについては、障害のある方々の雇用の創出、中央区らしさの演出といった点を考慮することも大変重要ではないか。

三田委員 本日の資料には、庁舎整備における他自治体の事例が掲載されており、このような好事例を踏まえて新本庁舎の目指す姿を検討することは良いと思う。中でも、単に利用しやすいということではなく、「区民に開かれた区役所」を掲げている点が良い。

私自身、各種手続きは出張所で済ませてしまい、本庁舎を訪れる機会はほとんどない。本庁舎の機能や設備等については、区民等に対して情報発信をされているかと思うが、用事がなければ来庁しないという区民も多いのではないか。そうした方々に、せっかく整備する立派な新本庁舎を訪れてもらうためには、オープンにするということに加え、手続き等が無くても立ち寄ってみたいくなるような魅力づくりを行うことが重要ではないか。

例えば、「アラジン」のような喫茶スペース等があれば、本庁舎を身近に感じていただき、ちょっと時間のできたときに立ち寄ってみようかという場になり得るのではないか。一区民としての希望でもあるが、ぜひ念頭においてご検討いただきたい。

竹内委員長 博物館等の施設でも、例えば、魅力的なグッズを販売しているショップや、レストラン・カフェがあるといった付加価値が非常に重要になっている。極端に言うと、入館してもらわなくても人が集る効果がある。区役所は博物館とは違うが、そういう付加価値の魅力があるといい。

また、「区民に開かれた区役所」という点では、区議会議場の建築デザインの見直しも重要ではないか。例えば、手続きをして議会を傍聴することまでしなくても、議会での議論の様子が外から見えるようにするといったように、どうすれば、区民に対して開かれたイメージを創出できるのかを検討することも必要ではないか。

小泉委員

「区民に開かれた区役所」ということで、人と人とのつながりを醸成するということを掲げているが、建物や設備ということだけではなく、職員という点からも考える必要があるのではないか。

コミュニケーションを醸成する空間づくりも重要だが、それ以前に、区民にとって身近な施設として、職員が区民の信頼を得られるような工夫をしていく必要があると考える。

私が所属する社会福祉協議会では、当会の事業やボランティア活動のPRに現本庁舎の1階のスペースを活用させていただいている。新本庁舎でも、このような活用場としてギャラリーやイベントスペースを設けるのであれば、誰もが活用しやすく、訪れやすい空間づくりの工夫をお願いしたい。

## 5 来庁者アンケートの結果概要

竹内委員長

事務局からの報告についてご意見等があればお願いしたい。

三田委員

来庁者アンケートの結果概要を見ると、回答者の約半数が30～40歳代となっており、若い世代の来庁が多いということがうかがえる。

一方で、仕事等の都合上、若い世代の方々にとっては会議への参加という方法は難しいかもしれないが、本委員会の委員に若い世代がほとんどおられない点を残念に思っている。これから、本庁舎を利用する機会が多いのは子育て世帯を含む若い世代であり、彼らの声を基本方針等に反映させる機会を設けるべきではないか。

田部井担当課長

若い世代の方々のご意見については、検討スケジュールに示しているパブリックコメント等も含めておうかがいし、基本方針等への反映を検討したいと考えている。また、日々の業務を通じて、各部署が承ったご意見についても、庁内検討の場を通じて反映させていく想定である。

ご指摘いただいたとおり、新本庁舎を今後特に利用されるであろう若い世代の意見を取り入れることは重要だと考えており、その方法等については、引き続き検討してまいりたい。

竹内委員長

新本庁舎を主に利用することになるのは、今の若い世代だというのはそのとおりである。若い世代の意見に加え、なかなか難しいとは思いますが、技術革新といった観点から、将来的にどのような世の中になっているか

という想定の中で、必要とされる本庁舎のあり方を検討していく必要もあるのではないか。

様々な経験を持っている方々と若い世代の方々、双方のご意見を踏まえた検討が重要ではないか。

## 6 閉会